

thinka

オンライン日本臨床獣医学フォーラム第23回年次大会

企業企画プログラム協賛

甲状腺ホルモン： いつ何を測って、どう読むか

2021年12月1日(水)～2022年1月10日(月)
オンライン開催

講師

東京大学大学院 農学生命科学研究科 獣医臨床病理学研究室

准教授

米澤 智洋 先生

猫の甲状腺機能亢進症の診断には血中Total T4濃度が重要な要素の一つである。しかし、境界領域の場合の判断や、他のホルモンを測定すべきかの判断指針は複雑で、しっかり理解しておく必要がある。また、犬では血中Total T4濃度が低くても、原発性の甲状腺機能低下症なのか、基礎疾患に基づく生理的な濃度低下なのか、注意深く見極めねばならない。近年、ヒト組み換えTSHによる刺激試験の有用性が改めて見直された。本講演では、これらのトピックスを紹介し、「甲状腺ホルモン：いつ何を測って、どう読むか」を考えたい。



※年次大会への参加は登録が必要です。

詳しくは、日本臨床獣医学フォーラム第23回年次大会ホームページを
ご確認ください。

<http://www.jbvp.org/forum/>

主催：一般社団法人 日本臨床獣医学フォーラム

提供：アークレイマーケティング株式会社

アークレイは動物医療に力を結集させます

think animal



腎・泌尿器疾患

動物用尿化学分析装置
thinka RT-4010

- 尿一般定性検査+UPCを試験紙で同時測定
- イヌ・ネコ専用の検量線



糖尿病

動物用グルコース分析装置
thinka BS-7110

- ヘマトクリット補正機能付
- イヌ・ネコ専用の検量線



感染症

thinka イヌフィラリア
検査キットCHW

- 全血を滴下するだけの1ステップ測定

thinka ネコ免疫不全ウイルス抗体/
ネコ白血病ウイルス抗原検査コンボキット
FIV/FelV

- 1カートリッジで2項目同時測定



※お得な感染症ボックスもございます。

NEW

内分泌検査

免疫反応測定装置
Vcheck V200

- 診察室で場所をとらない小型設計
- 少ない検体量で測定可能



A4
スペースに
設置可能!

生化学検査

乾式臨床化学分析装置
スポットケム EZ SP-4430V

- 血糖コントロールマーカーであるフルクトサミンの測定が可能
- 複数項目搭載のマルチ試薬で簡単プロフィール検査



動物の医療と健康を 考える情報サイト

- イヌ、ネコの生活習慣病に関する情報や
便利なツールをお届けしています。

<https://www.arkraythinkanimal.com>



お気軽にお問合せください。

<https://arkraythinkanimal.com/contact/>



arkray